

夏本番！水難事故に要注意！

遊泳場所として指定されているところ以外は危険！

- 急に深くなっている場所があります。
- 潮の流れが速くなっている場所(離岸流)があります。
- 水上バイクなどとの衝突が心配されます。

お酒を飲んだら泳がない！

- アルコールの影響で平衡感覚が鈍っていたり、正常な判断ができなくなっている場合があります。
- 泳げる人でも溺れることがあります。

子どもから目を離さない！

- 子どもは水遊びに夢中で、周囲への注意を欠きがちです。保護者が目を離したすきに流されたり溺れたりすることがあります。
- 危ないと思ったら自分の子どもでなくても注意しましょう。

衣服のまま水に落ちたら？

- 衣服が水を吸って体が重くなったように感じます。特に足がつかない場合などは恐怖感や不安感に襲われます。
- 慌ててしまい余裕を無くしたり、暴れて体力を使ってしまうと、死亡事故につながる場合もあります。
- 陸まで辿り着けなさそうなときは、無理に泳がず静かに救助を待ちましょう。

万が一、水難事故が発生した時は？

- 事故が発生したことを大声で周囲に知らせ、119番通報をお願いしましょう。
- 流された人から目を離さず、木や岩など複数の目印を設定し、どこまで流されたのか、どのあたりで沈んだのかなどの情報を救助隊へできる限り正確に伝えましょう。
- 二次災害を防ぐため、泳いで助けに行ってははいけません。